



「会社がレベルアップするために、やるべきことを考えていきたい」と話すのは、ステンレス高合金流通、イノウエ（本社＝東京都千代田区）の井上浩樹社長。海外展示会への出展、AI活用、健康経営の3点に力を入れる。

▽：昨年秋にフランス・パリで開催された原子

会社の成長へ必要なことを



井上浩樹氏

イノウエ社長

力展示会「WNE2025」では日本の原子力サプライチェーンプラットフォーム「NSCP」のメンバーとして出展。西華産業と共同で「発電プラントのソリューションサービス」をPRした。このほどシンガポールで開催された航空宇宙の展示会「シンガポールエアショー」にも出展。国内外の金属材料販売や加工

の実績と知見を基に必要の開拓を目指す。

▽：生成AIの活用も進んできた。昨年導入した「バーチャルスタッフ」は、営業や総務の役割を担ったAIとやり取りを行うもので、業務の効率化だけでなく営業の情報共有を行っている。メール作成作業の短縮、商談や提案の速度と質の向上につながるなど「すでに有形無形の成果が表れている」。開発企業とともに、さらなる活用に向けた準備を進め

る。

▽：健康経営にも力を入れている。運動と食事、休息を通じて心身の健康を追求する「アクティブ・ウェルネス」を重視。その一環として食育に関するセミナーを開くなど社員が関心を持つようなイベントを開く。井上社長自身も最近、長く歩ける身体を目指し、アメフト選手時代以来となるトレーニングを再開した。父の井上浩良会長も誘ったところ、運動不足の解消にと通うようになった。健康経営は「何よりも大切」として、社長自ら率先して取り組む。

(北)